



X-ray Precision, Inc.

卓上型マイクロX線分析・透過装置 RBOXRF+2010

特長

- 多層プリント基板や一体成型品等の表面と内部状態をX線透視しながら元素組成分析ができます
- 検体試料は大面積275×365×75mm(H)可能
- 手動ハンドルで試料の任意領域を素速く選定できます
- X線アイリス機構でX線検査領域を連続可変分析できます



主な仕様

- 観察機能
 - ・検体試料の表面及び裏面の光学像モニター
 - ・X線斜視(45°)透視像
 - 元素分析機能
 - ・エネルギー分散蛍光X線測定方法による多元素分析
 - ・X線アイリス機構によるX線照射領域約50 μ m~2mm ϕ が連続可変分析
 - XY試料ステージ
 - ・(W)275×(D)365×(H)75mm
 - X線発生器50kV0.6mA
 - X線検出器ペルチェ冷却PIN
 - 装置大きさ
 - ・本体620(W)×890(D)×480mm(H)
 - 装置重量 約60kg
 - X線漏洩線量1 μ Sv/H以下
- 本装置の設置に当たってはX線作業主任者の選任は不要ですが30日前迄に所轄の労働基準監督署への届出が必要です。

本装置は平成21年度(独)科学技術振興機構の重点地域研究開発推進プログラム地域ニーズ即応型「卓上型マイクロX線分析・透過装置の開発」において京都府中小企業技術センター、京都大学及び(株)エックスレイ プレシジョンによる共同研究開発の成果物です。

株式会社 エックスレイ プレシジョン

〒601-8116 京都市南区上鳥羽鉾立町11番地の2
TEL : 075-662-5161 FAX: 075-662-5171
URL:<http://www.x-ray.co.jp>
E-mail:manage@x-ray.co.jp